

令和6年度第1回 四国中央市環境審議会 議事録

■ 開催日時・場所

令和7年2月12日（水） 10時00分～11時00分
市民交流棟2階会議室

■ 次 第

- 1 開会
市民部長のあいさつ
- 2 環境審議会会長、副会長の選任について
- 3 議事
（1）諮問 公害防止協定の見直しについて
（2）報告事項
- 4 閉会

■ 傍聴人

一般傍聴人 なし、記者 なし

■ 出席者

役職名	担当課名	担当者名	出欠席
委員	井上整形外科医院	井上 香奈子	欠席
委員	セントラルシティ動物病院 獣医師	宇野 理恵	出席
委員	愛媛県立三島高等学校 校長	丸山 達也	出席
委員	東予地方局四国中央保健所 衛生環境課長	大塚 有加	出席
委員	うま農業協同組合 代表理事専務	近藤 善春	出席
委員	愛媛県漁業協同組合三島支所 支所運営委員長	宮崎 正	出席
委員	宇摩森林組合 代表理事組合長	苅田 耕一	出席
委員	四国中央市連合婦人会 副会長	田邊 富久江	出席
委員	(公社)法皇青年会議所 直前理事長	森川 力	出席
委員	(公社)愛媛県紙パルプ工業会 事務局長	石川 雄一	出席
事務局	市民部長	尾崎 智恵子	
事務局	市民部 生活環境課長	渡邊 晋一郎	
事務局	市民部 生活環境課	真鍋 宏一	
事務局	市民部 生活環境課	小木曾 俊幸	
説明者	協同組合クリーンプラザ 専務理事	篠原 隆夫	
説明者	協同組合クリーンプラザ 事業部長	篠原 慎二	
説明者	協同組合クリーンプラザ	笠嶋 佑介	
説明者	大王製紙(株) 四国業務部 安全環境課課長	藤井 剛	
説明者	大王製紙(株) 四国業務部 安全環境課 専任課長	鈴木 真二	

■ 議事録

1 開会

市民部長あいさつ

事務局より委員の役割について説明を行った。

2 環境審議会会長、副会長の選任について

選任方法について、委員から「事務局に一任する。」と意見があった。他の委員、「異議なし。」

事務局より、会長は、宇摩森林組合 代表理事組合長 荻田耕一氏、副会長は、(公社)愛媛県紙パルプ工業会 事務局長 石川雄一氏とする案を提案。委員承認。会長、副会長が選任。

会長、副会長がそれぞれあいさつ。

3 議事

(1) 諮問 公害防止協定の見直しについて

1) 協同組合クリーンプラザとの公害防止協定の見直しについて

事務局および協同組合クリーンプラザから、協定の見直しについて説明

【質疑応答】

(委員)

一般的にはかなり改良されていると思いますが、騒音について、市の基準はクリアしているとのことですが、変更後の基準値が上がっています。工場地帯ではあるのですが、住民の理解はしっかり得られているのでしょうか。

(協同組合クリーンプラザ)

公害関係（騒音）の規則では、クリーンプラザがある場所は第4種区域となっており、埋め立てが完了してからは見直し後の基準値が適用されているため、現状で違反はないという認識です。

(委員)

住宅地に騒音が増えるのではないかと思いますでしたが、違うことがわかりました。

質疑応答後、会長から、協同組合クリーンプラザとの公害防止協定の見直しについて、問題がない旨答申することに賛成の方の挙手を求めたところ、賛成多数により、問題がない旨答申することを決定した。

2) 大王製紙株式会社との公害防止協定の見直しについて

事務局および大王製紙株式会社から、協定の見直しについて説明

【質疑応答】

質問・意見無し

会長から、大王製紙株式会社との公害防止協定の見直しについて、問題がない旨答申することに賛成の方の挙手を求めたところ、賛成多数により、問題がない旨答申することを決定した。

(2) 報告事項

事務局から、四国中央市のカーボンニュートラルの取り組みについて、委員に説明を行った。

また、3月定例議会において、四国中央市が2050年に二酸化炭素排出を実質ゼロにすることを目指す、「カーボンニュートラルシティ」の表明をすることを伝えた。

【質疑応答】

(委員)

ごみの分別の細分化はいつから行われるのか。

(事務局)

トンネルコンポスト方式による施設の共用は、令和15年に開始する予定です。トンネルコンポスト方式に移行しても、ごみの分別は従来と同じ分別となる予定です。

(委員)

新居浜や松山は四国中央市と比べ、分別が厳しい。新しいごみ処理方式を採用して、分別がしっかりできていなかったら、回らなくなってしまうようではいけない。令和10年ぐらいまでには、きちっと分別を行われるようにする必要があるのではないか。

(事務局)

おっしゃる通り、四国中央市のごみの分別は13分別で、ほかの市町に比べると少ないです。例えば新居浜市は18分別です。

市民に無理をさせてはいけないというところで考えていますが、今後はプラスチックの分別収集などの検討を始めていく予定です。

分別の徹底については、周知、啓発が重要であると考えているので、ホームページや広報を使用して、行っていこうと考えています。

(委員)

市民の分別に対する意識を、少しでも上げていかなければいけないと考えます。

4 閉会

事務局より、四国中央市はカーボンニュートラルの取り組みをはじめ、環境に対する取り組みが活発化しているので、今後も審議、決定してもらう案件が増えることが見込まれる。今後も市の環境行政に理解・協力を求める旨説明したのち、閉会となった。

以上